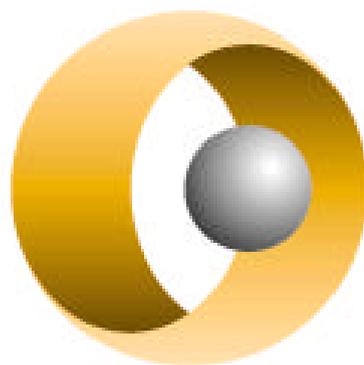


ゲートウェイ事業の展開について

～フィナンシャルワンメンバーズカードの発行～



Financial One
The Alliance for the Future

フィナンシャルワン

興亜火災海上保険株式会社

株式会社三和銀行

太陽生命保険相互会社

大同生命保険相互会社

つばさ証券株式会社

東洋信託銀行株式会社

日本火災海上保険株式会社

平成12年9月22日

今般、「フィナンシャル ワン（参加会社：興亜火災海上保険株式会社、株式会社三和銀行、太陽生命保険相互会社、大同生命保険相互会社、つばさ証券株式会社、東洋信託銀行株式会社、日本火災海上保険株式会社）」は、リテールマーケットにおいて共通ブランドの下に、中核ビジネスの一つであるゲートウェイビジネス（以下、GWビジネス）を具体的に開始いたします。

GWビジネスは、現行の法規制下で可能な限りお客さまの利便性を追求することで、我が国初の業態を超えた“総合金融サービス”を提供していくとともに、今後益々競争激化が予想されるカードビジネスの基盤構築・強化を目指すものです。

．GWビジネスの概要

(1) ビジネスの狙い

「フィナンシャル ワン」は、参加各社の強み・機能を有機的に統合していくことをその目的の一つにする総合金融型のアライアンスです。GWビジネスでは、「カード」という媒体と「ゲートウェイ」という仕組みを効果的に組み合わせることで、参加各社による共同のマーケティング活動を通じて、顧客金融取引のグループ内集中というビジネスモデルを具現化してまいります。

このようにGWビジネスは、各社の顧客情報の集約・共有化によるCRM（Continuous Relationship Marketing）の共同展開を行い、お客さまのニーズに合った商品を提供し、顧客の金融取引のグループ内集中度を高めていくという意味において、まさに「フィナンシャル ワン」の中核ビジネスの一つと位置付けることができます。

なお、本ビジネスは、現在ビジネスモデル特許を申請中です。

(2) 顧客ベネフィット～「フィナンシャル ワン メンバーズクラブ」

お客さまに「フィナンシャル ワン」をより多く利用していただくために、様々な利便性や情報提供、魅力的なポイントプログラム等を用意した「フィナンシャル ワン メンバーズクラブ」を開設し、総合金融サービスを提供してまいります。

まず、提携各社の共通ブランドカード（フィナンシャル ワン メンバーズクラブカード：クレジット機能付等3種類）を会員証として発行、会員専用サービスを提供いたします。

具体的には、フィナンシャル ワン参加各社の“金融サービス”に加え、流通・サービス業の“非金融サービス”の利用によりポイントを獲得できる画期的なポイントプログラムや、ライフプランシミュレーション（資産形成シミュレーション）等の各種情報サービス、各社との取引内容が一覧可能な「総合ステートメント」など

を提供いたします。また利便性提供のために、各社コールセンターとも連携を取り合う「共同コールセンター」や取引の場所・時間を選ばない「共同ポータルサイト」などのインフラ整備も進めてまいります。

・ GWビジネスの仕組み

(1) ゲートウェイ会社（以下、GW会社）の概要

GWビジネスにおいて中心となる機能を発揮するGW会社を共同設立いたします。具体的には、株式会社三和カードサービスを母体に、東洋カードサービス株式会社、株式会社大同生命カードサービス等と経営統合の上、フィナンシャルワン各社の出資を受入れ、社名変更等を経て、GW会社として本年10月2日より事業を開始いたします。

社名：株式会社 フィナンシャルワン カード
(英文：FINANCIAL ONE CARD CO., LTD.)

資本金：205百万円

GW会社では、これまでに培ったカードビジネスのノウハウとCRM技術の結集による新たなビジネスモデルの構築を行ってまいります。

また、GW会社は、特に保険商品に関わる顧客サービスを充実させていくために、株式会社フィナンシャルワン サービスと業務提携を行います。株式会社 フィナンシャルワン サービスは、保険代理業を営む協力会社であります。

(2) 事業規模

「フィナンシャルワン メンバーズクラブ」会員数は、2004年度に400万人を目標としております。

また、「フィナンシャルワン」アライアンスに全面協力を表明している株式会社アプラスは、フィナンシャルワン提携カードの来春発行に向け、具体的検討を進めております。この他にも、会員規模の拡大にあたっては、幅広く他カード会社との“提携カード”を展開していく予定です。

(3) メンバーズクラブの特典

「フィナンシャルワン メンバーズクラブ」では、顧客サービスを充実するために、以下の会員特典サービスを提供してまいります。

ポイントプログラム（フィナンシャル ワン ポイント）

買い物等クレジットカードの利用時に付与される一般的なクレジットポイント、フィナンシャル ワン参加企業との特定金融取引（定期預金・住宅ローン、投信購入、信託取引など）による金融ポイント、提携企業との特定取引（百貨店・スーパーマーケット等での商品購入、ネットプロバイダー契約、車検整備など）によるパートナーズポイントの計3種類のポイントが合算されて付与されます。金融ポイントは、フィナンシャル ワン参加金融機関指定の金融取引に対して、ポイントが付与されません。

また、獲得したポイントは、キャッシュバックや商品券との交換に加え、「JALマイレージバンク」など他の有力ポイントプログラムへの振り替えも可能となります。

尚、生命保険、損害保険の取引においては、フィナンシャル ワン専用商品等の投入を行い、ポイント付与が可能となり次第、開始いたします。

こうした“金融ポイント（非日常性）と非金融ポイント（日常性）の融合”は、従来にない全く新しいポイントプログラムの提供であり、今後もプログラムの充実を目指してまいります。

情報提供サービス

メンバーズクラブ会報誌やダイレクトメール・Eメール等にて、FP（フィナンシャルプランニング）情報、ライフステージに合った最適商品など様々な金融情報を提供いたします。

ライフプランシミュレーション

資産やローン残高、将来の計画等を基に、今後の収支や金融資産ポートフォリオ分析などのシミュレーションを提供いたします。

フィナンシャル ワン 総合ステートメント

フィナンシャル ワン参加金融機関との取引および財産形成アドバイスなどを掲載した総合ステートメントを送付いたします。

(4) 共同コールセンター・共同ポータルサイト

会員顧客へ提供するサービスを一層充実させるために、参加各社固有のコールセンターと連携を行う「共同コールセンター」をGW会社に設置いたします。

また、取引利便性の大幅向上のために、参加各社ホームページともリンクする「フィナンシャル ワン 共同ポータルサイト（本年5月開設済、URL <http://www.financialone.co.jp>）」のバージョンアップを行っております。

なお、コールセンター、ポータルサイトのいずれにおいても、フィナンシャル ワン メンバーズクラブ入会申込書の請求が可能です。さらに、2000年12月を目処に、マルチメディア端末においても申し込み受付を開始する予定です。

．ポイントプログラムの参加企業

これまでにない、より魅力的なポイントプログラムにするために、“パートナーズポイント”プログラムにおいて、以下の企業と提携いたします。

- 流通業： 高島屋、阪急百貨店、ダイエー、ユニー
- 通信： KDDI、ニフティ
- 住宅： 積水ハウス、東洋住宅販売
- レジャー： 国際興業（ホテル・ゴルフ場）
- 車検： 全国提携自動車整備工場（1200店）
- セキュリティ： セコム

さらに、プログラムを充実していくために、今後も「旅行」「飲食」等の充実に加え、「介護」「コンビニエンスストア」等多様な企業との提携を積極的に行ってまいります。

．今後の予定について

(1) 商品性の拡充

VISA・MasterCardブランドカードの発行

GW会社は、2000年下期中を目処に、株式会社ミリオンカードサービスとフランチャイズ契約を締結し、「VISA」「MasterCard」の2大国際ブランドカードを発行する予定です。これにより、従来の国内ナンバーワンブランドである「JCB」と合わせて、3大ブランドカード全ての発行・提供を行います。

「フィナンシャル ワン メンバーズクラブ」メニューの充実

ポイントプログラムについては、今後も引き続き提携企業数の増加を目指し、より魅力的なサービスを整えてまいります。

また、将来的には、規制緩和を前提に、共同ATM、保険 銀行間商品の提供等、業態を超える総合金融機能の充実を目指してまいります。

ICカード化

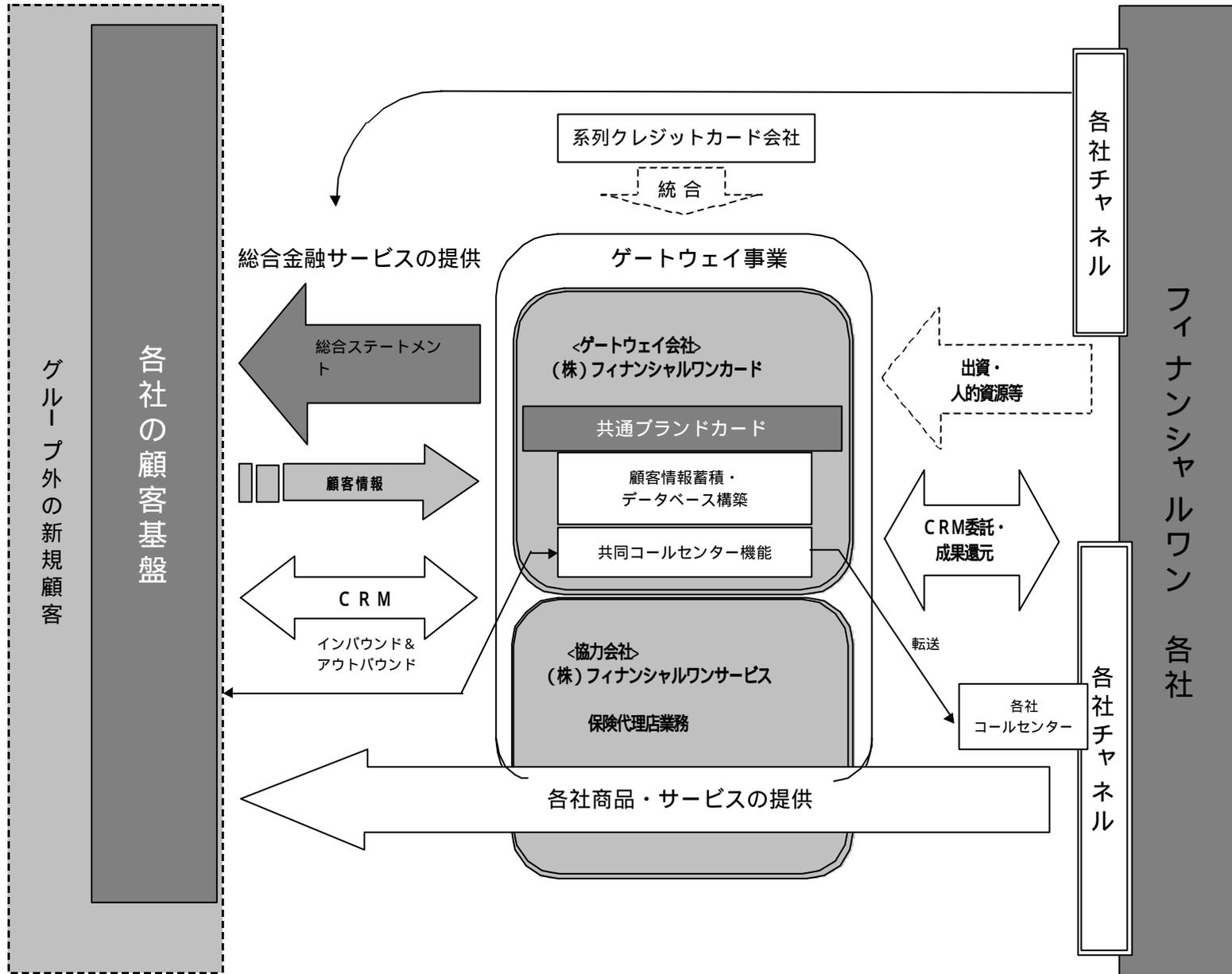
2001年度を目処に、カードのIC化を予定しております。これにより、フィナンシャルワンメンバーズクラブカードとクレジットカード、デビットカード、電子マネー等各決済機能の完全一体化が進展すると同時に、流通企業等と大規模に結びつくICポイント等も視野に入れてまいります。

(2) 東海銀行の参画

2001年4月に三和銀行、東洋信託銀行と経営統合を行う予定の株式会社東海銀行は、既に「フィナンシャルワン」への参画を表明しており、年度内を目処に、GWビジネスにも参加する予定です。

(以上)

「フィナンシャル ワン - GWビジネス」全体スキーム図



【フィナンシャルワンポイントプログラムの特長】

金融取引はもちろん非金融取引にもポイントが付くので、ためやすいポイントプログラム。
 獲得したポイントは、キャッシュバックや商品券との交換が可能（換金性の高いポイント）。
 また、ポイントをJALマイレージなど他の人気ポイントプログラムへ振替えることも可能（流通性のあるポイント）。

